

# 校内研修計画

山梨南中学校

## 1. 学校課題

全体的にはしっかりと挨拶ができ、素直な生徒が多い。また、意欲的に学習に取り組む生徒が多い一方で、自分なりの言葉や図や表などを用いて表現する力や自分で考え、判断して問題解決を図ろうとする力などは、まだ十分とは言えない状況が見られる。

## 2. 研究主題

「 確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫 」  
～ 学びの質的向上を目指して ～

## 3. 主題設定の理由

2016年12月の中央教育審議会答申を踏まえ、学習指導要領が改訂され、中学校では2021年度から全面実施となる。新学習指導要領については、学習する子どもの視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を見据えた改善が図られる。特に、子どもたちが「どのように学ぶか」に着眼して、学びの質を高めていくために、「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した「アクティブ・ラーニング」の視点から授業改善の取り組みがすでに進められており、山梨県においても学校教育指導重点に盛り込まれ、推進が図られている。

本校では4年前より「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫」を研究主題として校内研究を進めてきており、今年度で5年目を迎える。平成28年度では授業の中での「やまなしスタンダード」の定着、特に、授業前のめあての確認や授業後の振り返りに重点を置いてきた。そして、平成29年度では平成28年度の研究に上積みするかたちで、「やまなしスタンダード」を意識しながら、言語活動を取り入れた授業などが実施されるようになってきた。また、令和元年度は、言語活動を取り入れた授業に加えて、昨年度までの研究であり深まりが見られなかった活用・探求型の授業にも重点を置いた。令和元年度は、自主学習の質的向上をめざし、「学び方」について研究を進め、生徒たちの確かな学力の定着・向上を図ってきた。

これまでの4年間で「確かな学力の定着と向上」を基本テーマとし、とくに、学力向上のために「やまなしスタンダード」をベースとした構造的な授業づくりについて研究を行い成果をあげてきた。そして今年度は、自主学習や单元ごとのふりかえりなどの学習活動を通して、生徒の疑問やつまづきをみとり、教師が授業にどう生かしていくのか、また生徒がどう学ぶのか（学び方）を有機的に結びつけていくことで授業改善につながっていくと仮定する。教えてもらってわかる事や繰り返しやって身につく事、そして調べることで理解が深まる事など、幅広い学びにより、生徒は変容していく。生徒の変容と教師の変容の相乗効果により、知的好奇心をのばす授業づくりやわかる授業づくりにつながっていくと考える。確かな学力の定着・向上を図るために、授業改善の工夫について研究することで、生徒の学びの質的向上を目指したい。

## 4. 研究の具体的内容と方法

### (1) 全体研究会

- ・「確かな学力の定着・向上」を目指して生徒の効果的な「学び方」について研究する。
- ・GUノート（自学ノート）の取り組みから授業改善の工夫につなげる、研究を行う。

### (2) 教科別研究会

<各教科> 年に3回（6月、8月、10月） ※授業観察は随時

<分析部会> 年に2回（6月・8月）

- ・全国学力学習状況調査や県学力把握調査などの分析と対策を検討

→ その後の授業改善に生かす

・結果の分析結果情報を共有し、他の教科においても授業改善に生かせる部分は生かしていく

(3) 学年別研究会 年に3回 (8月, 12月, 2月)

・学びの質的向上を目指した学級・学年集団づくり

・Q-U検査の分析 → 個への対応, 集団づくり

(4) 授業研究 (9月:統一授業研 11月:初任者(社会) 1月:初任者(道徳))

①研究授業のテーマ

・授業とGUノート(自主学習)とのつながり

・「やまなしスタンダード」の7つのどの視点を取り入れた授業なのか

・主体的な学び, 対話的な学び, 深い学びのうちのどの学びを意識した授業なのかを明確に

②新採の中澤先生の授業研究については, 11月に社会, 1月に道徳を行う。

③各学年(教科/学活/道徳)

④可能な限り, 指導主事を招聘して授業研究を行う。

(5) キーワードとして考えられるもの

・自主(自主/主体)

・確かな「学力」

・動機付け(モチベーション) → 選択理論・ARCS・内発/外発

・自律(自律した学習者) → 計画(プランニング)・観察(モニタリング)

作戦計画(ストラテジー)

・ICTの活用

## 年間校内研修計画

研究主任 石井 美保

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C 要請
主題 「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫」 ~学びの質的向上を目指して~	<全体研究会> ①研究の方向性や研究主題などの確認 ②自主学習についての学習 ・確かな学力の定着や向上に繋がる 「自主」学習とは ③自主学習とのつながりを意識した授業実践について ④教育課程学習会の報告・共有 ⑤各種学力調査の分析結果の共有 ⑥道徳科授業実践に関する学習会 ⑦研究のまとめ	中澤	1年	11月	予定
	<教科別研究会> ①各教科の研究主題に迫る取り組み ②各種学力調査の結果分析 ③授業研究 ④研究のまとめ	全	全		
	<学年別研究会> ①Q-Uの分析 ②研究のまとめ	全	全		